

救急医学講座(救命救急センター含む)

氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
井上 義博	救急医学講座	教授	博士(医学)	救急医学・消化器内科学	<p>Endoscopic hemostasis of nonvariceal gastrointestinal bleeding. International Journal of Clinical Medicine 5(19):1147-54, 2014</p> <p>A study of Mallory-Weiss Syndrome secondary to upper gastrointestinal bleeding. Open Journal of Clinical Diagnostics 4:130-6, 2014</p> <p>The East Japan Great Earthquake and three cases of near-drowning with Tsunami due to Earthquake. Open Journal of Clinical Diagnostics 4:145-51, 2014</p> <p>東日本大震災での当施設への搬送症例 蘇生 32(1): 23-28, 2013.</p> <p>Factors associated with severe effects following acute glufosinate poisoning. Clinical Toxicology: The Official Journal of the American Academy of Clinical Toxicology &amp; European Association of Poisons Centres &amp; Clinical Toxicologists. 51(9):846-9, 2013.</p>
吉田 雄樹	救急医学講座	准教授	博士(医学)	救急医学・脳神経外科学	<p>東日本大震災と岩手県の脳卒中 第42回日本救急医学会総会・学術集会 2014.</p> <p>ワルファリン投与下での出血性疾患および緊急手術に対するプロトロンビン複合体製剤投与と効果 第40回日本救急医学会総会・学術集会 2012.</p>
山田 裕彦	救急医学講座	特任准教授	博士(医学)	救急医学・外科学一般	<p>ドクターヘリによる多数傷病者対応に関して 第42回日本救急医学会総会・学術集会 2014.</p> <p>地方におけるドクターヘリと地域中核病院の関わりについて 第28回東北救急医学会総会・学術集会 2014.</p> <p>外傷による皮膚欠損に対する人口真皮と持続陰圧療法の併用 第28回日本外傷学会総会・学術集会 2014.</p>

救急医学講座(救命救急センター含む)

氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
鈴木 泰	救急医学講座	講師	博士(医学)	救急医学・泌尿器科学	重症敗血症患者に対する厳格な血糖管理・体温調節 第42回日本集中治療医学会学術集会 2015.  血管内容血を呈し、搬入後短時間で死亡した劇症型Clostridium perfringens感染症の1例 第42回日本救急医学会総会・学術集会 2014.  敗血症患者に対する厳格な血糖管理・体温調節の試み 第42回日本救急医学会総会・学術集会 2014.  敗血症に対する治療における血液浄化法の重要性 第25回日本急性血液浄化学会学術集会 2014.
中舘 俊英	救急医学講座	講師	博士(医学)	呼吸器内科学	稀な肺疾患 呼吸 33(9): 914-20, 2014.  溺水 呼吸 32(11):1036-41, 2013.
藤野 靖久	救急医学講座	講師	博士(医学)	救急医学・消化器内科学	当院における孤立性胃静脈瘤に対する治療指針の再考 JDDW2014(第56回日本消化器病学会大会) 2014.  MD-CTによる食道胃静脈瘤症例の傍食道静脈の評価 第21回日本門脈圧亢進症学会総会 2014.  MDCTによる傍食道静脈の評価 第87回日本消化器内視鏡学会総会 2014.
柴田 繁啓	岩手県高度救命救急センター	講師	博士(医学)	麻酔科学	急性肺障害に対する人工呼吸 急性肺障害の病態と臨床知見 日本臨床麻酔学雑誌 33(7):926-31, 2013.  CD69 expression is dysregulated granulocytes and monocytes from sepsis patients LIVES 2014, ESICM's 27th Annual Congress  Comparative assessment of eicosanoids as predictors for septic acute respiratory distress syndrome LIVES 2014, ESICM's 27th Annual Congress

救急医学講座(救命救急センター含む)

氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
照井 克俊	岩手県高度救命救急センター	講師	博士(医学)	救急医学・循環器内科学	トリカブト中毒患者30症例の不整脈症状を中心とした特徴と治療に関する臨床的検討 日本救急医学会雑誌 24(10):857-63, 2013.  ST上昇型心筋梗塞の早期PCIに対するドクターヘリの時間短縮効果 第21回日本航空医療学会総会 2014.  復温に難渋した低体温症の一例 第42回日本救急医学会総会・学術集会 2014.
大間々 真一	救急医学講座	特任講師	博士(医学)	救急医学・脳神経外科学	Influence of the Great East Japan Earthquake and Tsunami 2011 on Occurrence of Cerebrovascular Diseases in Iwate, Japan Stroke 44(6):1518-24, 2013.  Extent of food damage increased cerebrovascular disease incidences in Iwate prefecture after the Great East Japan Earthquake and Tsunami of 2011 Cerebrovascular Disease 37:451-459, 2014
小鹿 雅博	岩手県高度救命救急センター	特任講師	博士(医学)	消化器外科学	Interleukin-8 induces an elevation in the endotoxin activity assay (EAA) level: does the EAA truly measure the endotoxin level? J Infect Chemother. 19(5):825-32, 2013.  Interleukin-18 levels reflect the long-term prognosis of acute lung injury and acute respiratory distress syndrome. J Anesth. 26(5):658-63, 2012.
高橋 智弘	岩手県高度救命救急センター	特任講師	博士(医学)	循環器内科学	岩手県ドクターヘリでの循環器疾患に関する活動の現況について 第28回東北救急医学会総会・学術集会 2014.  Different trends in increased incidence of myocardial infarction and heart failure after 2011 earthquake and Tsunami disaster in Iwate 第77回日本循環器学会総会 2013.
小野寺 誠	岩手県高度救命救急センター	特任講師	博士(医学)	救急医学・消化器内科学	救命救急センターにおける非静脈瘤性上部消化管出血患者の治療成績 日本救急医学会雑誌 25(1):1-8, 2014  投与を求めて東北3県の救急外来を受診した自称女医のペンタジゾン依存症の1例を経験して 日本救急医学会雑誌 25(7):307-12, 2014
菊池 哲	救急医学講座	助教	博士(医学)	救急医学・消化器内科学	硬化療法後に虚血性胃粘膜病変をきたした残胃静脈瘤破裂の1例 Gastrobterological Endoscopy 55(7):1995-9, 2013.  当科におけるアルコール性肝硬変症例の食道胃静脈瘤治療成績の検討 日本消化器病学会雑誌 110(suppl-1): 416-416, 2013.  敗血症性ARDSに対するPMX-DHP施行時のHMGB1値と肺酸素化能の検討 エンドトキシン血症治療研究会誌 18(1):222-8, 2014.

救急医学講座(救命救急センター含む)

氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
那須 和広	救急医学講座	助教	博士(医学)	循環器内科学	DICを合併した敗血症ショックに対するPMX-DHP施行時の造血因子の推移 エンドトキシン血症救命治療研究会誌 18(1):240-8, 2014.
藤田 友嗣	救急医学講座	助教	博士(薬学)	環境・衛生系薬学	植物性自然毒による中毒 中毒研究 28(1):41-5, 2015. Risk factors for early re-bleeding and associated hospitalization in patients with colonic diverticular bleeding. Colorectal Disease 15(8):982-6, 2013
石部 頼子	岩手県高度救命救急センター	助教	学士	救急医学	プレセプシン値は敗血症性DICの重症度を良く反映する 日本救命医療学会雑誌 28:59-64, 2014. PMX-DHP施行時にトロンボモジュリンを継続して測定し得た敗血症性DICの1例 エンドトキシン血症治療研究会誌 18(1):86-91, 2014.
高橋 学	岩手県高度救命救急センター	助教	博士(医学)	救急医学	SIRS症例における新規炎症マーカープレセプシンとチトクロムCの検討 外科と代謝・栄養 47(3): 129-129, 2013. 白血球減少を伴った敗血症性ショック患者において血中G-CSF濃度を継続して検討した一例 日本救命医療学会雑誌 28:117-20, 2014. 敗血症性DIC症例におけるリコンビナントトロンボモデュリン製剤使用時のプレセプシンおよび他の液生因子の比較検討 日本外科感染症学会雑誌 11(3):181-6, 2014.
小野寺 ちあき	岩手県高度救命救急センター	助教	博士(医学)	救急医学	PMX-DHPを施行したARDS症例における可溶性接着分子の検討 エンドトキシン血症救命治療研究会誌 18(1):141-7, 2014.
菅 重典	岩手県高度救命救急センター	助教	博士(医学)	救急医学	Evaluation of an endotoxin-specific limulus amoebocyte lysate assay using leukocyte-rich plasma for the diagnosis of gram-negative bacterial infection J Infect Chemother 19(2):299-304, 2013 重症破傷風におけるランジオロールの有用性の検討 ICUとCCU 38(10):697-703, 2014.
小守林 靖一	岩手県高度救命救急センター	助教	博士(医学)	脳神経外科学	ジェットコースター乗車が原因として考えられた特発性硬膜下血腫の1例 第37回日本脳神経外傷学会 2014.
佐藤 寿穂	岩手県高度救命救急センター	助教	博士(医学)	救急医学	A study on the relationship between early-stage plasma cytokines and neutrophil elastase levels in septic acute respiratory failure, and the prognosis. J Iwate Med Assoc 65(1):37-46, 2013
増田 卓之	岩手県高度救命救急センター	助教	博士(医学)	救急医学	PMX-DHP施行時のプロテインC活性、TNF- $\alpha$ およびNO <sub>x</sub> 値の経時的変化の検討 エンドトキシン血症治療研究会誌 18(1):167-73, 2014.

救急医学講座(救命救急センター含む)

氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
満永 義乃	岩手県高度救命救急センター	助教	学士	胸部外科学 外科学一般	①満永義乃:冠動脈バイパス手術と手術創部合併症. 第19回日本冠動脈外科学会学術大会. 東京. 2014年7月 ②満永義乃, 金 一, 岩瀬友幸, 古武達也, 熊谷和也, 小泉淳一, 鎌田 武, 坪井潤一, 向井田昌之, 猪飼秋夫, 岡林 均:当院における感染性心内膜炎の術前頭部MRIによるリスク評価と至適手術時期決定方法の検討. 第67回日本胸部外科学会定期学術集会. 福岡. 2014年9月 ③満永義乃:再胸骨正中切開時に大動脈損傷をきたした症例. 第13回津軽海峡循環器カンファランス. 弘前. 2014年7月 ④満永義乃:慢性透析患者に対する大動脈弁置換術の手術成績および遠隔期成績の検討. 第44回日本心臓血管外科学会学術総会. 熊本. 2014年2月 ⑤熊谷和也:80歳以上の高齢者に対する冠動脈バイパス術の手術成績. 第18回冠動脈外科学会学術大会. 福岡. 2013年7月
桂 永行	岩手県高度救命救急センター	助教	博士(医学)	神経内科学	視神経脊髄炎の1剖検例 第31回日本神経治療学会総会 2013.
佐藤 正幸	岩手県高度救命救急センター	助教	博士(医学)	救急医学	プレセプシン値はPMX-DHP施行時の敗血症性DICの重症度をよく反映する エンドトキシン血症救命治療研究会誌 18(1):79-84, 2014.
佐藤 諒	岩手県高度救命救急センター	助教	博士(医学)	救急医学	A newly developed kit for the measurement of urinary liver-type fatty acid-binding protein as a biomarker for acute kidney injury in patients with critical care. J Infect Chemother 21(3):165-9, 2014.